

みかさ写遊会

今輝いている人・団体を取り上げる「ちくしのびと」。
今回は、コミュニティセンターの趣味の域を超えて、楽しみながらお互いに技術を磨き、作品を撮り続ける「みかさ写遊会」の皆さんを取材しました。

会」が発足しました。現在は、幅広い写真歴の11人で活動しています。

持ち寄った写真を互いに評価

活動は、写真を持ち寄って他の会員から合評を受ける例会を毎月行っています。会員は、4枚まで持つことができるので、どこで、どのような意図で写真を撮ったか説明します。評価はみんなで意見を出し合い、「右側をトリミングした方がいいよ」と改善点をアドバイスすることもあれば、「腕を上げたね」「いい写真撮るね」と評価を受けることもあります。

グなどの指導・講評をしてもらえること」「写真についてわいわい話せること」と言います。

写真の魅力は「見て感動したものを形として残すことができる」「自分一人で行える」こと。けれど、「写真をみんなに見せて意見をもらって、自分自身が豊かになる」。個人的な満足だけではなく、他の会員に見てもらって評価を受けることができるから。今日も会員の皆さんはカメラバッグを肩に、夜明け前から家を出ます。

●「みかさ写遊会」への問い合わせ先
御笠コミュニティセンター
☎(922)2601



フォトコンテストで入選多数

昨年募集した、筑紫野市市制施行50周年記念フォトコンテスト。800点を超える応募作品の中から22点が入賞しました。そのうち準グランプリをはじめとした入賞した5点を撮影した皆さんは、同じ「みかさ写遊会」(以下、写遊会)のメンバーでした。写遊会の皆さんは、他にも福岡県美術展覧会(県展)や自治体・団体等のコンテストに精力的に応募し、数々の入賞・入選を果たしています。

始まりは「ミセン」主催講座から

写遊会の始まりは、平成15年の御笠コミュニティセンターの主催講座「いきいき写真教室」でした。この講座の受講生が設立、平成16年からは「写真の出来栄を競ったり、遊び心で写真を撮りましょう」と「みかさ写遊

互いに向上するために

コンテストの情報は共有し、個人で応募、結果を報告しています。コンテスト用に撮影に行ったら、他の会員と会うこともあり、常に向上したい、勉強したいという姿勢で互いに研さんしています。

写遊会の魅力は、「構図やトリミング



スクリーンに映した写真を評価します